

ますはら

「完全に救う」

「それで、ご自分を通して神に近づく人々を、完全に救うことができになります。

この方は常に生きていて、彼らのために執り成しておられるからです。」

(ヘブライ人への手紙 第7章25節・新約聖書399頁)

はじめに

私たちは幸せになりたい、いい生き方をしたいと思い、さまざまな努力をしています。報道されているような破滅的な生き方は論外ですが、少なくとも誠実に生きようと考えているはずです。小学校の卒業アルバムに載せるため、自分の好きな言葉を寄せ書きしたのですが、「巨人の星」などのスポ根やモーレツ時代を反映してか「根性」や「努力」が圧倒的に多かったことを覚えています。目標など何も考えていなかったからでしょう。その中で、「初心忘るべからず」と書いた女の子がいました。世阿弥の言葉ですが、私は初めて知ったその言葉を忘れることができません。

知人、また自分の子どもに「生きるって何？」などと自分の生き方を問われた時、はっきり答えることができるか。自分に問いかけた時、今の自分の姿を見いだすことができるでしょう。

もし、そこに何の具体的な答えも見いだすことができなければ、「常識」というあいまいな価値観を持ちつつ、世の中の流れに身を任せて生きているというしかありません。それは充実した生き方とはほど遠い姿なのではないかと考えます。

生き方を見直す

このヘブライ人への手紙は、今までの何か見えない者に縛られていた古い生き方を捨てて、よりよい人生を送るようにと勧めています。最初に語られているのは、「あなたが自分を幸せにしようと思ってやってきた方法は正しいと思

うか」との問いかけです。人の生き方は千差万別です。それぞれがそれぞれの方法の正しさを語れるでしょう。しかし問題は、では自分は幸せなのか、言葉ではなく、実際にその生き方で、毎日充実して生きているか、です。もし、そうでないならば、一度しかない人生、今こそ見直しがが必要です。

完全に救う

波風のない日が毎日続くことはありません。生き方の真価が問われるのは、その何かがあった時に、自分の生き方が有効に働き、揺るがないかどうかです。ここで主イエスが私たちと共におられると信じる者は、すべての生き方に勝った希望をもたらし、その人を「完全に救う」と記されています。「完全」とは、どんな人でも、どのような状況でも、信じる人がどのような不十分な信仰でも、主イエスに頼ろうとするその姿勢があれば救いがもたらされ、それが永続的に維持されていく。つまり揺るがない希望を見だし、完璧な解決が与えられ、信じる者が充実し、心が満足して、何も欠けることなく幸いを感じるということです。

救いを見いだした人

今までの自分の生き方を変え、主イエスを信じたことで完全に救われた人たちのことを覚え、私たちもその人たちにならって、完全に梳くってくださる主イエスを仰いでいきたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「律法は何一つ完全なものにしなかったからです——

しかし、他方では、もっと優れた希望がもたらされました。私たちは、この希望によって神に近づくのです。…イエスは永遠に生きているので、変わることはない祭司職を持っておられるのです。それで、ご自分を通して神に近づく人々を、完全に救うことができになります。この方は常に生きていて、彼らのために執り成しておられるからです。このように清く、悪も汚れもなく、罪人から離れ、もろもろの天よりも高くなった大祭司こそ、私たちにふさわしい方な



のです。」(ヘブライ人への手紙 7:19、24～26)

神さま、私が主イエスと会う以前は、自分がどのように生きていけば良いのかわからず、苦しんでいました。人から毎日どう生きているのかと割れても、ちゃんとした答えを持っていませんでした。そして、毎日何も考えず、その日その日で違う言動を取りつつ、それで良いのだと考えていたように思います。しかし、主イエスを信じた時、私は「完全」に救われました。

この主を信じていけばいいのだと知ることができ、今では感謝でなりません。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (110) 第5章14節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「集会の中で、会衆の中で 私は追い詰められていた。」

◎口語訳 「集まりの中、会衆のうちにあって、わたしは、破滅に陥りかけた」

◎新改訳 「私は、集会、会衆のただ中で、ほとんど最悪の状態であった。」

「追い詰められる」

旧約聖書に出てくる「集会」とは、私たちが考えるような、礼拝とか「〇〇時から始まります」といったイベントではなく、イスラエル全体をイメージした公共の場を指し、会衆はそれよりも小規模な集団、近隣の人たちの集まりを指しています。つまり、論しの言葉に耳を傾けなかったために、大失敗をしでかしてしまったことが、自分だけに留まるだけならまだしも、近所の人に知られてしまっただけでなく、公共の場で明らかにされてしまった。そうすると、今まで築いてきた信用も失いますし、過程の中もギクシャクとしてくる。それで追い詰められてしまったわけです。新改訳は「最悪の状態」とあり、現代人には非常にわかりやすい言葉に置き換えられています。

政治家や芸能人、スポーツ選手など、その言動が公共の場で取り上げられます。賞賛を浴び、

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

「〇〇賞ものだ」などと報道されることで、さまざまな役得を得ることができるのですが、ひとたび失敗をすると、それは個人的な範囲ではまず、あることないこと報道され、SNSなどで中傷されて、完膚なきほどにたたきのめされてしまいます。まさに「追い詰められ」最悪な状態になります。

論しを授ける父は、12～14節の言葉を口にした人の例を多く見てきていたのでしょう。子に対して二の舞にならないようにと戒めているわけです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第60編10節「モアブは私の足を洗うたらい。エドムには私の履物を投げ、ペリシテ中に勝ち鬨の声を響かせよ。」◆ダビデの時代、東隣にモアブ、南にはエドム、ペリシテは西側の地中海沿岸にいた。北からはアッシリアが攻めてくるような気配を見せていた。同盟を組んでイスラエルを攻めようとの動きもあった。そのように敵に囲まれている中で、ダビデの心を強め、彼らに勝利宣言をすることができたのは、神の軍勢がついていることを実感していたからだ。人の助けはおなし。だが、神が共にいるならば無敵である。

●賛美 / 193 ●祈祷課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第61編3節「心が挫けるとき、地の果てからあなたを呼びます。私よりはるか高くそびえる大岩へと私を導いてください。」◆ダビデがサウルに追いかけていた時、高い岩の上ののぼり、そこからサウルに声をかけたことがあった。死海周辺の地形はそのような険しい岩が多く、その切れ目に泉が湧いていたり、崖の上から鹿がのぞいていたりする。近くに見えていても、すぐに登ることができないし、追いつくこともない。「高き岩よ、わが君よ、すぐるわれをかくまいて」との賛美があるが、私たちは信仰を持ってその岩にのぼり、難を逃れるべきである。

●賛美 / 194 ●祈祷課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第62編9節「民よ、どのような時にも神に信頼せよ。御前に心を注ぎ出せ。神は我らの逃れ場。」◆ダビデは「私はじたばたするのではなく、ただ神を待ちます。なぜなら、神が私を救うことのできる唯一の方だからです」と告白している。私たちはじたばたしすぎる。どんな時にも神に絶対的な信頼を置くべきである。そして、その神に向かって、自分の心のすべてを吐き出すようにして祈りを注ぐべきである。神が必ず勝利を与え、平安を与えてくれるからだ。どのような時にも、そのような信仰姿勢を崩してはならない。

●賛美 / 195 ●祈祷課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第63編3節「聖所であなたの力と栄光にまみえるため 私はあなたを仰ぎます。」◆「ダビデがユダの荒れ野にいたとき」とあるので、「聖所」と口にしているが、エルサレムにいたときではない。おそらく苦境にあったダビデは、あえぐような苦しみの中、失望したのではなく、その場所を聖所のようにみなし、神の力と栄えとを「見よう」とした。神は私たちと共におられる。これが私たちの救いの本質だ。どこにでも共にいるのだから、「共にいる」その場所はどこでも聖所になり得る。そして、そこにおいて神の力と栄光が表れるように、祈ることができる。

●賛美／196 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第64編9節「彼らは自分の舌のゆえにつまずき 見る人は皆、頭を振るでしょう。」◆私たちの心をえぐるような言葉を投げかけられることがある。まさに「剣のように鋭い」舌で心を刺し通し、矢継ぎ早に罵声を浴びせかける。だが、主はそれを覚えておられる。彼らはやがて自分の言葉によって滅びて行くのだとある。だが、それまでの時、私たちはどう過ごせば良いのだろうか。神の言葉は彼らの言葉よりはるかに力強い。その神の言葉によって慰めを受け、力を受け、すべてを主により頼むことである。

●賛美／197 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第65編5節「幸いな者 あなたに選ばれ あなたに近づけられ あなたの庭に住む人。私たちはあなたの家 あなたの聖なる宮の恵みに満ち足ります。」◆何でも、選ばれるためにはそれなりの条件や資格、また理由が必要である。ところが神の選びには何の資格も必要ない。「選ばれた」ということを素直に認めることで、その選びが有効となり、神の前に近づけられ、そして神の庭、つまり、天国にいるかのような恵みを味わうことができる。そのようにされた私たちにはもはや乏しいことはなく、神による祝福を受けて歩むことができるようにされる。

●賛美／198 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第66編20節「神をたたえよ。神は私の祈りを退けず 慈しみを拒まれませんでした。」◆祈る時、何かの対象が必要である。考えてみてほしい。その対象にお祈りをして、その祈りは届いているだろうか。ほとんどは自己満足である。つまり、祈ったから聞かれるはずだと思ひ込むしかない。祈る方もそれを知っていて、聞かれたらラッキーとぐらいにしか考えていない。だが、聖書の神は違う。「私の祈りを退けず」だ。神はその慈しみをもって、私たちの祈りを聞いてくださると宣言しておられる神である。だから、祈りる中で喜びがもたらされるのだ。

●賛美／199 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【しとげんこうろく 9:1～22】

「パウロの かいしん」

(コリント ニ 5 : 17)

イエスさまの すくいをつたうた ステファノは イエスさまのことを にくんでいた ひとたちによって いしをなげられ、 しんでしまいました。そこにいた サウロ という せいねんは ステファノを ころすことに さんせいし、 そのばしょで いしをなげつづけるひとの せわをしていました。

サウロは、 イエスさまを しんじるひとたちが にくくて たまりません。いろいろなところ については、 イエスさまを しんじるひとたちを さがしだし、 たいほしたり、 らんぼうをは たらいていました。

サウロは ダマスコというまちで イエスさまを しんじるひとたちが とっても おおくなっているときき、 だいさんしから きよかをもら せて、 イエスさまを しんじるひとたちを たいほ するために ダマスコにむかいました。

ダマスコのまちが みえてくるであろうば しょまで きたときのことで。とつぜん てん からひかりが さしてきて、 パウロは そのひかりのなかに つつみこまれてしまいました。

そしてそのなかで「サウロよ サウロよ なぜ わたしを はくがいするののか」とのこえを ききました。そのこえが イエスさまであることが わかりました。ふかつのイエスさまが サウロに あらわれたのです。そのしゅんかん、 サウロは イエスさまを しんじるものとなったのでした。

めがみえなくなってしまった パウロは ほかのひとに てをひかれ、 ダマスコの まちにはい りましたが、 もう イエスさまを しんじるひとを はくがいしようとする ころはなくなり、 イエスさまを しんじる けっしんをするようにな っていました。そして、 そこに しゅから つかわされた アナニアが たずねてきて、 サウロに バプテスマを さずけたのでした。

このときから、 サウロは イエスさまの すくいをつたえるひとになっていきました。

●かんがえてみよう

☆サウロは なぜ ダマスコに いこうとしたのですか。(しとげんこうろく 9:1)

☆ダマスコに ちかづいたとき、 去ろうに なにが おこりましたか。(しとげんこうろく 9:3)

☆ひかりのなかで、 サウロにかたりかけたのは だれでしたか。(しとげんこうろく 9:5)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

わたしのなをほこぶ

の					た	な	し	ぶ
			ぶ	な	わ	の		
ぶ	た	な						
				わ	ぶ	た	は	し
な	し	は				わ	ぶ	の
た	ぶ	わ	し	の	は	を		
は			の	た	こ	し	な	わ
わ	な					ぶ	の	た
し	の	た	わ	ぶ				は

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① たちのびゅうと
- ② しもたがのう
- ③ みかんかっ
- ④ こんれう

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「通販サイト」

BSチャンネルをつけると健康関係のCMがひっきりなしに流れます。補聴器やマッサージ器、ベッドといったものもありますが、サプリメントや健康食品はその倍以上だと思います。そして、これらの多くは定期購入の紹介をしています。テレビでは基本電話なのでまだいいのですが、最近こうした健康関係の商品を扱っている通販サイトを通じての定期購入に関するトラブルが急増しているのだそうです。

「『お試し』を頼んだら、その半月ほどたったころ同じ商品が届いたので、会社に連絡をすると、定期購入になっていた。解約を申し出ると途中解約は1年分支払うことになっているなどと言われた」などの例は、高齢者が多いようです。原因は、高齢者でも簡単に使えるスマホが登場したからです。操作はともかくとして、サイトを閲覧することで、情報量が増えた結果、フィッシングを見破ることができなかつたり、内容の細かい注意ができなかつたりで、自分の思っていた通りになっていなかったことを、商品が送りつけられることで知る。うかつに注文すると悪質なサイトにひっかかってしまうわけで、これもオレオレ詐欺の一種です。注文する前にもう一度確認しましょう。

聖書ふれあい街歩き

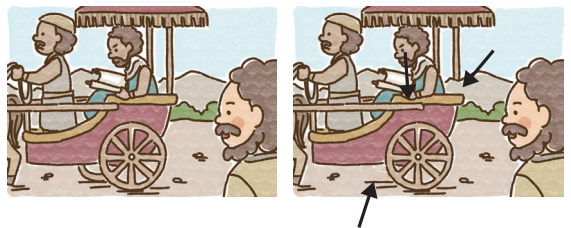
●神の箱の行き先 3

神の箱を奪って意気揚々とアシュドのダゴン神殿に運んだものの、ダゴンの像がたおれ、そして壊れるのを見て、これは神の箱が来たからだと考えて、緊急の領主会議が開かれます。そしてガトに移すことが決まり、ガトに来た途端、今度は「町の住民は子どもから大人まで打たれ、腫れ物が蔓延」してしまいました(サムエル上5:9)。これはたまらんとばかり、ガトの領主は許可を取っていなかったと思うのですが、とにかくこの状況はまずいとみて、エクロンに押し付けるのです。すでに住民たちはアシュドで、そしてガトで起こったことを知っていましたので、「イスラエルの神の箱をここに移し、私と私の民を殺すつもりか」と抗議をするわけです。「私と私の民」と言っているので、エクロンの領主の言葉だと考えます。そこで再び領主会議が招集され、「元の場所に戻そう」。もうこれはダゴンも、そして人間の力でも解決できないから返すのが一番だとの結論です。「神の手がそこに重くのしかかっていた」と表現されていますが、「死の恐怖」に駆られてしまったのでした。そこでかれらは一旦町から出して、郊外の平野に放置し、善後策を考えるわけです。

ななめ聖書 先週のこたえ

こ	ふ	に	び	あ	れ	て	ろ	よ
ろ	よ	あ	こ	ふ	て	び	に	れ
て	れ	び	ろ	よ	に	ふ	あ	こ
よ	て	こ	ふ	ろ	あ	れ	び	に
び	に	ろ	れ	て	こ	あ	よ	ふ
ふ	あ	れ	よ	に	び	こ	て	ろ
あ	こ	て	に	れ	ろ	よ	ふ	び
れ	ろ	よ	て	び	ふ	に	こ	あ
に	び	ふ	あ	こ	よ	ろ	れ	て

- ①いざやのしょ
- ②ぜんざいさん
- ③ほふりば
- ④けをかる



ローマに向かうパウロ

こうして、論争が激しくなったので、大隊長は、パウロが彼らに引き裂かれてしまうのではないかと心配し、兵士たちに、下りて行って人々の中からパウロを力づくで助け出し、兵営に連れて行くように命じた。

その夜、主はパウロのそばに立って言われた。「勇気を出せ。エルサレムで私のことを力強く証ししたように、ローマでも証しをしなければならぬ。」

夜が明けると、ユダヤ人たちは集まって、パウロを殺すまでは飲み食いしないという誓いを立てた。共に誓いを立てた者は、四十人以上もいた。

(使徒言行録23:10~13)



連行されるパウロ

【兵営でのパウロ】

最高法院議員の招集は大隊長が命じたことによるものでしたから、パウロの退廷、そして解散についても大隊長が主導できたわけですから。そうでなければ、また違う意味で問題が起こっていたはずですから。行政ではなく、これは宗教問題であるから、ローマが口を挟むな、そのように取り決められているだろうと突っ込まれてもおかしくはない状況だったからです。「パウロを力づくで助け出し」という言葉で分かるように、大隊長の素早い判断が、パウロを助けたのです。

兵営とはアントニオ要塞のことで、ローマ兵の駐屯地です。ほとんどの警察署には犯罪者を一時的に留め置く「留置所」が設けられています。例えば前後不覚に陥った泥酔者が留置される、といった場合もありますが、兵営での留置所の役割も同様でした。ローマ兵の中にも規律違反をする者がおり、取り調べのために監禁する必要があったと思われ、治安を乱す者を逮捕した時にも、その処分がくだるまで拘束しなければなりません。最初、大隊長がパウロを兵営に入れた際、「鞭を打って取り調べるように」命じていますので、尋問の際の道具も備えてあったことが分かります。そのような場所で一晩を明かすことになるわけです。

その夜、「主がパウロのそばに立って」くださいました。

主イエスは、ゲッセマネで逮捕された後、大祭司の庭に連れて行かれ、裁判をお受けになりました。そして明け方、ピラトがいた「総督官邸」に連れて行かれました(ヨハネ18:28)。総督官邸は「プラエトリウム」というギリシャ語が使われて

いて、これをヘロデの王宮だとする説があります。ただその言葉が使われているマタイ27章27節、マルコ15章16節を見ると、ローマの兵士たちがいて、その部隊全員が呼び集められています。これは王宮の様子とは言えません。ヨハネの福音書でも同様で、ここでも総督官邸とありますが、ローマの兵営であり、アントニオ要塞であったことはほぼ間違いありません。

ということは、パウロと同じ場所に主イエスもおられたこととなります。

主は、この兵営の場で頭を叩かれ、唾を吐かれ、さんざんに嘲られていました。鞭を打たれた場所は公衆の面前であったと思いますので、留置所ではなかったでしょうが、場所はアントニオ要塞でした。そして、そこから十字架を担いでゴルゴタに向かわれたのです。どんなお姿でパウロのそばに立ってくださったのでしょうか。

ヘロデが与えた深紅(紫)の衣を着、ローマ兵ががぶらせた茨の冠をかぶっておられたのでしょうか。十字架によって引き裂かれた手足を示し、槍で刺された傷をお見せになっていわれたのでしょうか。そして言われたのです。「勇気を出せ。エルサレムで私のことを力強く証ししたように、ローマでも証ししなければならぬ」。パウロはどんなに力づけられたことでしょうか。

天使が伝えるだけでは、事足りなかったからこそ、直接声かけをしてくださったと思います。主は、今日の最高法院議員の面前で証した出来事を喜んでくださっただけでなく、ローマまで行くことを保証してくださいました。この時、パウロは揺るぐことのない確信に満ち、ローマへの道が開けたことを実感したのでした。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙二5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙一15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

